



KAKEHASHI Project (招へいプログラム) 米国 (日系人青少年第2陣) の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国より日系人大学生・大学院生 59 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 1 月 12 日から 1 月 19 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

米国 59 名

3. 訪問地

東京都(全員)、福岡県(29名)、宮城県(30名)

4. 日程

1 月 12 日 (火) 羽田国際空港・成田国際空港より入国

1 月 13 日 (水) 来日時オリエンテーション、【講義】内閣府
【視察】海外移住資料館

1 月 14 日 (木) ~1 月 17 日 (日)

2 つのグループに分かれ、各地方を訪問

1. グループ A : 福岡県

【歴史文化視察・体験】大宰府天満宮、能楽体験、木うそ絵付体験

【表敬・交流】福岡市、ホームステイ

【学校交流】西南学院大学

2. グループ B : 宮城県

【地域概要講義】仙台市プロモーション課

【交流】ホームステイ

【学校交流】宮城学院女子大学

【歴史文化視察・体験】松島、こけし絵付体験

1 月 18 日 (月) 地方プログラム終了後、東京へ移動

報告会 (訪日成果・帰国後活動計画発表)

1 月 19 日 (火) 羽田国際空港/成田国際空港より出国

5. KAKEHASHI Project プログラム記録写真
 米国（日系人青少年）訪日団第2陣の記録



1/13 【講義】内閣府（東京）



1/14 【学校交流】西南学院大学（福岡市）



1/14 【学校交流】宮城学院女子大学（仙台市）



1/15 【歴史文化視察・体験】能楽体験（福岡市）



1/15 【地域概要講義】仙台市プロモーション課（仙台市）



1/18 報告会（東京）

6. 参加者の感想

◆ アメリカ 学生

このプログラムは、第二外国語を学ぶ重要性についての私の思いを強くしました。私は、たくさんの魅力的な人と出会い、話すことができ、とても幸せでした。顧客サービスのレベルと家庭でもてなしは、私の期待の更に上をいくものでした。アメリカでは見ることもない、お互いを尊重し合い、そして非常に気遣いを示すことに、不慣れな感じを覚えたくらいでした。特にお互いを尊重し、責任感を持つという面で、アメリカは、日本から学べることが多くあると思います。さらに、私にとって、日本のプロダクトデザインの革新性は大変感心させるものでした。アメリカのビジネスも、日本のデザインをもっと研究すれば、経済的成功が増えるだろうと思います。帰国後に、ソーシャルメディアに私の経験を掲載し、友達と共有したいと願っています。日系アメリカ人として、今回の経験は、非常に貴重なものでした。

◆ アメリカ 学生

私が最も感銘を受けたことは、この国の文化と人々にどっぷり浸れたことです。今回の旅行のキーワードをひとつ挙げるとしたら“親切”という言葉でしょうか。宮城学院女子大学の学生、ホームステイ先の家族、その他かかわって下さった方々と出会って、もっと日本を旅行してさらに詳しく日本と日本の文化について知りたいという思いが強くなりました。これらの人々との触れ合いがなかったらこの発見の旅は不完全なものになっていたことでしょう。音楽、食べ物、買物、新幹線、博物館は旅に華を添えてくれました。日本の人々は本当に温かく私たちを迎え入れてくれ、とてもお世話になりました。この様な機会に恵まれて、日本人の誠実な特質に触れることができ、心から感謝します。

◆ アメリカ 学生

日本の国全体の先進性に深く印象付けられました。6年前にも来日しましたが、大きく様変わりしたように思います。男性中心の社会から女性は職場においても優れた人材であるとみなされる国へと変貌したようです。また、ホームステイはとても楽しかったです。今回の旅のハイライトだったと思います。ホストファミリーとの交流は素晴らしいものでした。私自身の祖先にとっても近いルーツをもつ家族との交流は極めて刺激的でした。ルーツは似ていても文化はまるで違っていました。長く残る思い出を作ることができたことに感謝しています。

◆ アメリカ 学生

日本は、素晴らしい人達がいる本当に美しい国です。誰もが非常に親切で、尊敬の念を表してくれます。日常の生活面で、日本人の価値観が良く分かります。私は、日本がいに環境にやさしい国かということに、大変感銘を受けました。地面や道路にごみはありません。トイレはいつも清潔で、全てのごみはリサイクル、または最良の方法で廃棄されています。互いに気を遣い、そして環境に気を配る道徳観にとっても感心させられます。ホームステイ先のお母さんは、片言の英語にも関わらず、私達を歓迎し、私達に

素晴らしい経験をさせてくれようと一生懸命で、その心遣いや親切さに感動しました。日本人の生活が垣間見えたホームステイは、本当に楽しかったです。観光地、神社、博物館に行くことも一つですが、日本人と生活を共にすることは、私自身も一人の日本人として暮らすことができ、日本の本当の姿を体験・理解することが出来ました。私はこのプログラムを通して多くのことを学べたと感じています。そして、帰国後、日本について共有する事がとても楽しみです。

7. 参加者の帰国後の発信内容（報告会での）例/ 派遣国での発信内容

<p>General Findings</p> <p>Quiet in public Many bike and use mass transit Work-driven society People dress more formally Active nightlife: Arcades, crane games, and cafe Pachinko and drinking culture Modern architecture and technology Efforts to increase female participation in the workforce</p> 	<p>What We Will Do Ourselves</p> <p>Social Media and Word-of-Mouth Influence</p> <ul style="list-style-type: none"> • Post photos and information via social media platforms (e.g. Facebook and Instagram) • Share experiences with friends and family • Share Japanese culture through the creation of art, animation and various entertainment • Post about Japan on personal blogs • Study Japanese in school • When taking family trips to Japan, teach family what you have learned
<p>日本での気づき</p>	<p>アクションプラン</p>
<p>What we did</p> <ul style="list-style-type: none"> • Shinkansen to Sendai in Northern Japan <ul style="list-style-type: none"> • Educational: Miyagi Gakuin Women's University • Geographical: Matsushima • Cultural: Dontosai festival, Kokeshi doll painting, • Kami Town with homestay families 	<p>Homestay testimonials</p> <p>"Even though we couldn't communicate, they treated us and accepted us as family."</p> <p>"The homestay was a genuine experience and truly unique. I am grateful for the opportunity to experience the history behind such a rich culture."</p> <p>"Crying with the family during the send off. It was really cool to see how two different cultures can affect each other in such a short time."</p> <p>"We all felt so loved!"</p> <p>"[I enjoyed] seeing a 300 yr old samurai house in Kami [Town]. I appreciate how these things are preserved."</p>
<p>日本で行ったこと</p>	<p>ホームステイでの経験</p>